

清潔で安全な操作のために

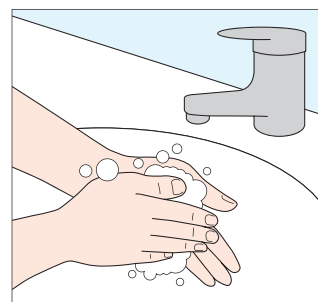
清潔で安全な操作のために(感染予防のために)	19
カニューレ留置位置の変更	21
重要な安全性情報	22

清潔で安全な操作のために(感染予防のために)

● 手洗い

シリンジ交換や輸液セットを取り扱う際には必ず事前に手洗いをします。

石鹸を使い十分な流水で洗い乾かします。



● 作業用テーブル

明るく清潔で平らなテーブルの上で行います。また、十分なスペースを確保しましょう。必要な物品はすべて準備しておきます。

● 滅菌済み物品の取り扱い

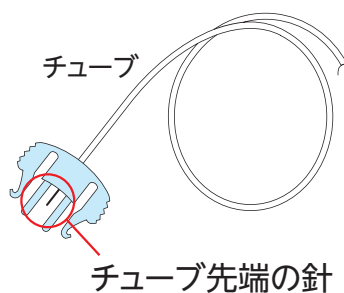
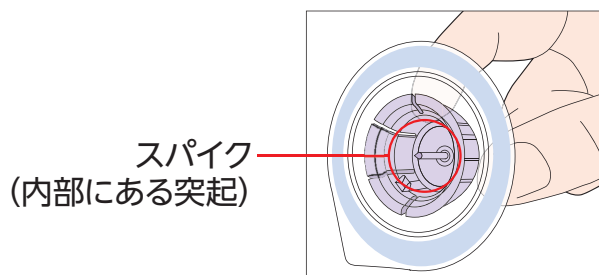
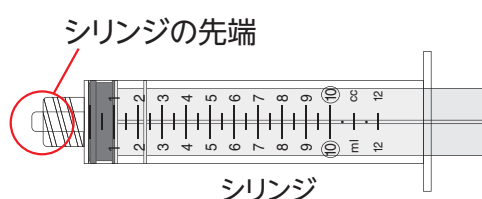
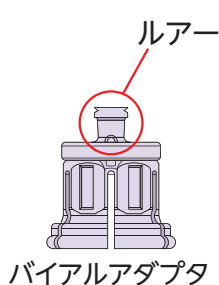
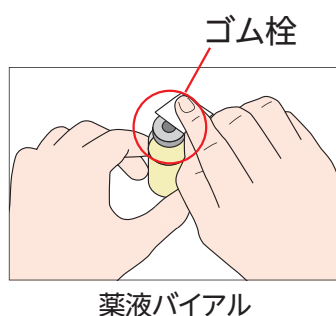
バイアルアダプタ、シリンジ、輸液セットは滅菌されています。単回使用で再使用はできません。

使用前にパッケージの袋が破れていたり、製品に破損や異常が見られたら使用しないでください。

また、取り扱いの際には、物品の先端部分(接続するところ)が不衛生な部分に接触しないようにしてください。不衛生な部分に接触した場合は、廃棄して新しいものを使用してください。

直接触らないように
気をつけましょう

- アルコール綿で拭いた後の**薬液バイアルのゴム栓**
- バイアルアダプタの**ルアーとスパイク**
- シリンジの**先端**
- 輸液セットの**チューブ先端の針**



● 皮膚を清潔に

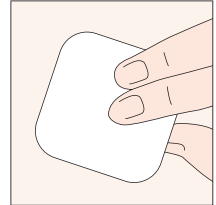
皮膚トラブルを防ぐために、皮膚を清潔に保つことを心がけましょう。

入浴の際や、カニューレを交換する際に皮膚の状態を観察します。

皮膚にかゆみや赤味など気になる点があれば、自己判断で処置しないで早めに医療機関にご相談ください。

カニューレ留置前(貼る前)

カニューレを留置する際には、予定位置を必ずアルコール綿で拭き、乾燥させてから、インサクションデバイスでカニューレ留置を行います。



* アルコール過敏症がある方はアルコールを含まない消毒液をご使用ください。

* 留置位置の周りの毛はハサミで切ってください。カニューレの粘着パッチが皮膚につきやすくなります。毛を剃る必要がある場合は、1日待ってから留置位置を使用してください。

カニューレ抜去後(はがした後)

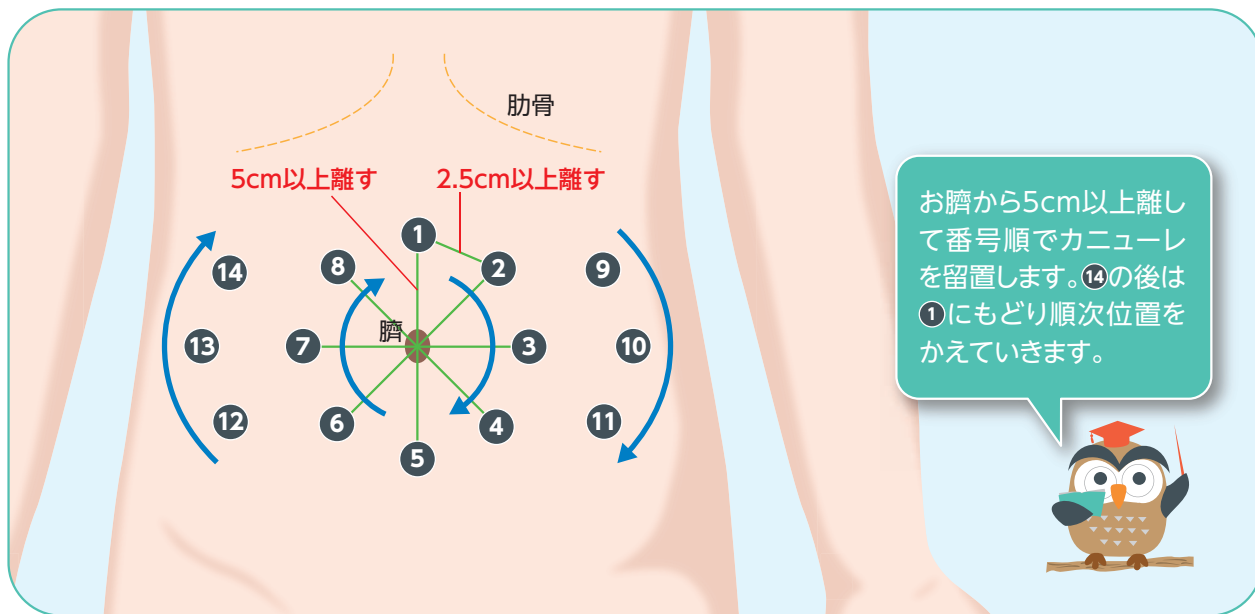
皮膚トラブルを避けるために、カニューレをはがした場所を清潔に保つように心がけましょう。

入浴時には、カニューレをはがした場所を観察して、粘着パッチのべたつきが残っているようならやさしく取り除いてください。

カニューレ留置位置の変更

カニューレ留置位置の皮膚トラブルを避けるために、輸液セットは少なくとも3日ごとに新しいものと交換し、カニューレを留置する位置を変える必要があります。穿刺の前には、留置予定位置をアルコール綿で拭いて清潔にしてから行います。

● カニューレ留置位置の変更(ローテーション例)



● 望ましい留置位置

- ・ お臍から5cm以上離します。
- ・ 新たな投与部位は、過去12日間に使用した投与部位から2.5cm(約指2本分)以上離します。

● 留置を避けるところ

- ・ かゆみや傷があったり、硬くなっているところ。
- ・ 妊娠線があるところ。
- ・ ベルトがあたる場所。
- ・ 前かがみになったときに、お腹の皺のくぼみになる場所。

* 皮膚に異常(圧痛、あざ、発赤、硬結等)がある部位は、症状が治癒するまでは、その部位には投与しないでください。

ヴィアレブを使用すると、カニューレを留置した皮膚の周囲に以下のような問題が生じる場合があります。

皮膚の感染：

細菌が皮膚に侵入したときに起こることがあります。

細菌が血液に入り込むと、皮膚の感染が重症化して細菌が全身に広がるおそれがあり、これを敗血症はいけつしやうといいます。

皮膚の反応：

皮膚が刺激を受けたり炎症を生じたときに起こることがあります。

注入部位感染／注入部位反応の確認方法

カニューレを留置した位置の皮膚に変化がないか確認してください。皮膚の変化は発熱の有無にかかわらず起こり、以下のものがあります。

- ▶ 発赤ほっせき
- ▶ 触れると温かい
- ▶ 腫脹しゅちやう
- ▶ 圧痛/疼痛あつづつ とうづつ
- ▶ 皮膚を押したときの皮膚の色の变化

注入部位感染／注入部位反応があらわれたら

3日を待たずに新しい輸液セットを使用して、カニューレの留置位置を変更してください。治癒するまでは、同じ位置を再使用しないで、新しい位置に留置してください。上記のような皮膚症状があらわれたら、自己判断で処置しないで早めに医療機関へ相談してください。